

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和01年12月27日

計画の名称	美しい自然とゆたかな吉備文化にはぐくまれた快適な総社														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	総社市														
計画の目標	いまだに多く存在する未普及対策に対して計画的な下水道整備を行い，良好な水環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		690	A	690	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2末	R4末	R6末
1	①下水道処理人口普及率を61％（R2）から64％（R6）へ向上させる。			
	①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）	62%	63%	64%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	総社市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	総社処理区	汚水管渠φ150～350 L＝4.0 Km	総社市	■	■	■	■	■	400		－
	A07-002	下水道	一般	総社市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	総社処理区	調査・設計等	総社市	■	■	■	■	■	100		－
	A07-003	下水道	一般	総社市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	山手処理区	汚水管φ150～200 L＝1.0K m	総社市	■	■	■	■	■	90		－
	A07-004	下水道	一般	総社市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	山手処理区	調査・設計等	総社市	■	■	■	■	■	50		－
	A07-005	下水道	一般	総社市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	清音処理区	調査・設計等	総社市	■	■	■	■	■	30		－
A07-006	下水道	一般	総社市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	美袋処理区	調査・設計等	総社市	■	■	■	■	■	20		－	
										小計						690			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						690		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	23	11	3	4	
計画別流用増△減額 (b)	△8	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	15	11	3	4	
前年度からの繰越額 (d)	0	7	0	0	
支払済額 (e)	8	18	3	4	
翌年度繰越額 (f)	7	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 美しい自然とゆたかな吉備文化にはぐくまれた快適な総社

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①個別処理と経済比較に関する上位計画との適合	
I. 目標の妥当性 1) 都道府県構想（クリーンライフ100構想）に適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るため事業の再点検（4つの点検）」の実施結果を反映している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	

[illegible]

(参考図面) 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

